

2012年(平成24年)9月24日(月曜日)(10)

健診結果の活用促す

OCHIS 勉強会開催

【大阪】ヘルスケアネットワーク(OCHIS)は14日、「健診結果データの見方&活用勉強会」を開催した。冒頭のあいさつで作本貞子理事は「健康に起因する事故が急増している背景もあり、健診結果をしっかりと把握し健診後のサポートを確実に行なうことは、大きな事故を防止するた

めのショートカットだ」と答えていた。

勉強会は、作本理事が「健診結果の活用の必要性と効果」を題して講演。同理事は、平成22年7月に国交省から「事業用自動車の運転者の健康管理に係るマニュアル」が策定され、同23年10月に「健康状態の確認の再徹底

を発出している」とことを説明。その上で、刑事責任をはじめ行政責任や社会的責任に加え、「事業者の安全配慮義務違反によって民事損害賠償責任の高額化リスクが経営を脅かしている」と、健康管理の重要性を説明した。



引き続き、黒田悦子
保健師が「健診結果の見方&活用方法について」と題して講演。また、OCHISの健診後のサポートを行うサービスが紹介された。事業者の定期健診結果を預かり、紙ベースではなくデータ化して一元管理することで、要再検者や要精密検査・要受診者をピックアップし、保健師面談や社内教育などをまで専門的にフォローを行う取り組みが説明された。(山田克明)